

石狩湾新港 みなと見学会



172名参加!

石狩市の小学生 船に乗って港を勉強

ガントリークレーン



コンテナ

高さ約50mのガントリークレーンで吊り上げられるコンテナを見学しています



岸壁(陸上)のトラック荷台にコンテナを下ろすところ

6月12日(火)、石狩湾新港にて「石狩湾新港みなと見学会」を実施し、石狩市内の小学生が参加しました。14日は船舶不調のため中止となりましたが、15日も実施される予定で、合計172名の小学生が参加することとなっています。

初日は、緑苑台小学校・双葉小学校の4年生が参加しました。当部職員から「みなとの役割」について説明を受けた後、港湾業務艇「ひまわり」に乗船し、港内を1周しました。東埠頭から中央水路に入ると、コンテナ船が入港しており、巨大なガントリークレーンを使った荷下ろし作業を間近に見て、驚いていました。30分弱の航海でしたが、子供達は日頃見ることが出来ない海上からの港湾施設に目を輝かせていました。

みなさんの生活を支える物流基地「港」、その役割を学んで体験する良い経験が出来たと思います。



みなとの役割について説明します



職員の質問にも手を挙げて答えてくれました。
「液状化」という回答には、職員も驚きました。



さあ、いよいよ港内見学に出掛けます！



ガントリークレーンや港湾施設を「すご〜い」と見上げる



地震にも強い耐震強化岸壁工事を見学中です



貨物船が荷下ろし中のところを見学



使用した船舶は港湾業務艇「ひまわり」



目を輝かせていた子供達